


【件名】	三頭橋長寿命化工事（その1）	【事務所名】	西多摩建設事務所	
【工事場所】	東京都西多摩郡奥多摩町川野地内 一般都道川野上川乗線（第206号）奥多摩周遊道路	【受注者名】	化工建設株式会社東京支店	
【工期】	令和3年3月1日から令和4年9月22日	【主たる技術者名】	監理技術者 清水 正治	

【工事概要】

三頭橋 橋長132.3m 総幅員9.5m
工場製作工 一式 工場塗装工 一式
アーチリブ補強工 一式、横げたブラケット補強工 一式、
支取替工 8基、下部工検査路設置工 2.276t、
現場塗装工 一式、仮設工 一式

【表彰理由】（※発注者側評価）

奥多摩の厳しい現場条件の中で多様な工種のある工事であったが、現場代理人は優れた管理運営能力と経験により、状況に応じた人員や資機材の手配が行われ、工期内に無事故で工事を完了させた。施工中にPCBが確認されるなど、工期や工事費が大幅に増えることになったが、除去の際にリサイクル可能な研削材を用いることにより廃棄物を削減し、工事費の抑制が図られた。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

横断縦断方向にも勾配があるアーチリブと、400×600mmのダイヤフラムをくぐらないといけない場所があり、毎日がアスレチックのようでした。

◇ 特に工夫した点

PCBを含んだ塗膜クズの処分費は発注者負担となるため、発生するゴミを減らせるよう研掃材と施工方法を検討し、耐摩耗性に優れた材料を選定しました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

桁内部の調査時、鉛丹色が観られたため、塗膜分析を行いPCBを含んだ有害な塗膜である事が判明、健康被害を未然に防ぐ事が出来ました。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

今後さらに、構造物の補修、補強など長寿命化が主流となると推測されます。是非ニッチな勉強をして欲しいですね。新しい技術の開発を期待しております。



アーチリブ内の狭いダイヤフラム部の塗装前後